

Ⅳ. 教育研修単位を取得される皆様へ

- (1) 単位取得には1単位につき1,000円(消費税10%を含む)の手数料がかかります。
- (2) 本学術集会において教育研修単位を取得できる講演は、特別講演、招待講演、教育研修講演、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナー、モーニングセミナーです。現地参加での取得可能単位数の上限は、合計14単位です。同時時間帯に開催する講演は、いずれか1単位のみ取得可能です。現地開催後、オンデマンド配信期間中の取得可能単位数の上限は、合計8単位です。上限単位には、研修指導者講習会、骨・軟部腫瘍特別研修会の単位は含まれません。現地、オンデマンドの両方で視聴した場合でも、最大取得可能単位数は14単位です。また、オンデマンドの最大取得可能単位数は8単位です。

(3) 取得可能単位数について

	骨・軟部腫瘍学術集会参加単位	骨・軟部腫瘍学術集会での受講により取得できる最大単位数		
		現地受講	オンデマンド配信での受講	ハイブリッド受講(現地+オンデマンド)
専門医認定資格を得るための研修期間の会員	—	14 単位	8 単位	14 単位 (オンデマンド配信での最大8単位を含む)
日本専門医機構認定整形外科専門医	3 単位			

(4) 教育研修単位取得講演の受講手続きについて

〈現地受講の場合〉

- ・ 学術集会ホームページより単位申込画面にお進みいただき、手続きをお取りください。ただし、規定の人数に達した場合、入場できないことがありますのでご了承ください。
- ・ 受講にあたって、会員の方はQRコードが必要となりますので、必ずご用意ください。QRコードはJOINTSアプリや日整会会員ページ(JOINTS)ログイン時に表示が可能な他、参加章にも印字されています。
- ・ 講演開始10分前から、講演開始10分後までQRコードを講演会場入口の読取機にかざして出席登録を行ってください。10分を過ぎて受講手続きが完了していない場合、途中退場された場合には単位取得はできませんのでご注意ください。なお、シンポジウムで単位を取得する場合は、入場時だけでなく退出時にもQRコードを読取機にかざす必要があります。

〈オンデマンド配信受講の場合〉

- ・ 学術集会ホームページより受講手続きをお済ませください。
- ・ 安定したインターネット環境でのご参加をお願いいたします。
- ・ 参加登録後にご案内する学術集会視聴サイトの該当セッションページより受講ください。セッション終了後10分以内に、「視聴終了」ボタンを押し、表示される設問に回答ください。設問に正解すると単位取得が認められます。
- ・ 現地受講とオンデマンド受講では、同一講習での単位の重複取得はできません。以下の場合、受講履歴がクリアされるため、単位取得が認められませんのでご注意ください。
- ・ 視聴開始したあと、別のページに移動する。
- ・ ブラウザの「戻る」ボタンで戻る。

- ・ ブラウザを閉じる。

(5) オンデマンド配信セッション教育研修単位の取得について

【不正受講の禁止等】

学術総会等における講演その他の単位を申請する教育研修の受講は、参加者が高度な学識と技能を習得するために必要なものです。さらに、教育研修単位として申請をされている場合は、わが国における専門医制度の運営の基盤となるものです。

オンデマンドプログラムを受講する際に閲覧する動画が「早送り」をされたり、オンデマンド配信セッションの受講時に同じ時間帯に複数の端末等で再生がされた場合は、記録している「ログ」をもとに、不正受講が行われたと判断します。不正受講は、学術集会等の意義を毀損するとともに、医師としての資質に重大な疑いを生じさせ、専門医制度の円滑な運営に支障を生じさせる行為です。不正受講をした会員に対しては、単位の不認定は当然として、厳正に対処します。絶対にお止めください。

なお、一旦教育研修単位の申請をされた以上は、支払われた受講手続費用は返金しません。

【不正受講とみなされること】

1. 講演の初回視聴をスキップ(早送り)してe テスティングに合格して単位申請すること。
2. 複数の PC・タブレット等で同時に視聴を行いe テスティングに合格して単位申請すること。
3. 複数のブラウザやタブを用いて同時に視聴を行いe テスティングに合格して単位申請をすること。
4. 視聴前にe テスティングの設問画面にアクセスして解答すること。
5. 複数講演を同時に受講開始しておき、追って順番に視聴すること。
6. 視聴後、時間が経過してからまとめて解答すること。
7. 他人に視聴あるいはe テスティングを委託して単位申請すること。
8. その他、本学会、教育研修委員会が不正と判断すること。

【不正行為の予防のために】

- ・ e テスティング合格後の単位申請について
講演をすべて視聴した後に、すみやかに設問に解答して、正解(共通講習では 80%以上)の場合に限り、申請後に単位が付与されます。
- ・ e テスティング解答開始までの時間制限
講演の視聴終了後、10 分以内に設問の解答を開始した場合に単位申請を認めます。視聴終了後 10 分を超えた時間が経過して e テスティングの解答を開始した場合の単位申請は認めません。
- ・ e テスティング解答時間の時間制限
解答時間には制限を設けます(領域講習(設問 1 題、5 択形式)は 30 分以内、共通講習(設問 5 題、5 択形式)は 60 分以内)。視聴後、「視聴終了」ボタンをクリックしたら、すぐに回答を始めてください。一度クリックされますと取消しができませんので、制限時間内に必ず解答してください。超過した場合、理由の如何を問わず単位取得は認められません。
- ・ 初回の早送りや視聴時間の短縮をした聴講による単位申請を認めません。
- ・ 複数講演の同時視聴あるいはローディングした聴講による単位申請は認めません。
- ・ 不正受講と認定された場合でも返金はいたしません。

- ・ オンデマンド配信の一時停止機能の時間制限
聴講時に一時停止を認めます。ただし、一時停止の上限は累計(停止回数は問わない)で 24 時間とし、それを超えた場合には再受講をしなければなりません。

【特例措置】

子育て中の医師については、特例措置を設けます。申請は、日整会ホームページの会員ページ(JOINTS)の「e ラーニング> e ラーニング>特例措置申請」にお進みください。【新規登録】を選択後、申請事由等の入力、母子保健手帳の表紙と 1 ページ目の写しあるいは子の障害者手帳の写しを添付し、申請してください。審査後認可された医師に限り、解答時間開始および解答時間の時間制限、一時停止時間の上限を設けません。

特例措置期間は 1 年間としますが、再申請により延長を可能とします。なお、母子手帳の「子の氏名」部分は伏せてください。また、健常児の特例措置の適用は、未就学児のみとします。

(6) 研修受講履歴の確認について

- ・ 骨・軟部腫瘍学術集会オンデマンド配信期間終了から一定期間後に取得単位が反映されます。詳細な反映時期は未定のため、決まり次第学術集会ホームページでお知らせします。日整会会員ページ(JOINTS)の「資格・単位>専門医>単位振替」で単位取得状況をお確かめください。
- ・ 取得した単位で、複数の必須分野等が認定されている場合、自動的に小さい方の分野番号として登録されます。 N1, N3, R が認定されている場合、自動的に N1 になります。N3 や R の単位として登録したい場合は後日「単位振替」を使って変更してください。なお、受講された単位が取得可能単位数を超過した場合や同一時間帯での複数受講記録がある場合は過誤データとなりますので、「単位振替」で超過分などの削除を行ってください。単位反映後 3 カ月以内にご自身で訂正されなかった場合には一定のルールに従って、機械的に削除されますのでご注意ください。

(7) 骨・軟部腫瘍学術集会参加単位の取得

骨・軟部学術集会参加単位は、オンデマンド配信期間終了後に、参加登録情報に基づいて自動的に登録されます。整形外科専門医の学会参加単位は 5 年間で 6 単位まで認められます。

V. 第70回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍特別研修会開催について

本学術集会において、骨・軟部腫瘍取扱いについての特別研修会を以下の要領で開催いたします。この研修会の2つの講演を受講すると整形外科専門医試験の受験申請に必要な腫瘍の単位2単位が取得できます。

- 内 容 : 1. 「骨腫瘍の診断と治療」
講師 浅沼邦洋(松阪中央総合病院整形外科)
2. 「骨転移の診断と治療」
講師 濱田哲矢(久留米大学整形外科学教室)
- 日 時 : 令和7(2025)年7月18日(金) 16:10~18:10
- 会 場 : 第1会場(奈良県コンベンションセンター 1階 コンベンションホール B)
- 対 象 : 未整形外科専門医(今後、整形外科専門医試験を受験予定の方)
- 定 員 : 520名
- 受講方法 : 骨・軟部腫瘍特別研修会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。
(現地受講の場合) 参加登録後、定刻までにご来場ください。遅刻・早退は認められません。
(オンデマンド受講の場合) 参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

VI. 第39回 日本整形外科学会研修指導者講習会開催について(オンデマンド配信のみ)

- 内 容 : 1. 「臨床現場での医療安全の考え方」
座長 西田佳弘(名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科)
講師 辰巳満俊(奈良県立医科大学 医療の質・安全管理センター)
2. 「医師の働き方改革対応に必要な法的知識について」
座長 未定
講師 鈴木 翼(田辺総合法律事務所)
- 対 象 : 日整会認定研修施設等の指導的立場の整形外科専門医
- 受講方法 : 研修指導者講習会の受講には、本学術集会の参加登録が必要です。
参加登録後、オンデマンド配信サイトからご視聴ください。

VII. Best Presentation Award, Best Poster Award について

一般演題とポスター演題の査読結果をもとに候補演題を選出し、当日の発表内容を座長が評価のうえ、優れた演題を「Best Presentation Award」と「Best Poster Award」として選出し、閉会式で表彰します。

【表彰式(閉会式)】

- 日 時 : 7月18日(金) 18:10~18:30
- 会 場 : 第1会場(奈良県コンベンションセンター 1階 コンベンションホール B)

第58回 日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 講演一覧

特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	肉腫基礎研究の変遷と展望	戸口田淳也	S1312	1	17日	11:25-12:25	N	1,5	009
2	骨・軟部腫瘍診療 ―われわれの挑戦―	尾崎敏文	S1412		18日	11:50-12:50	N	5	028

招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	30 years of bone and soft tissue pathology. With current technology, are pathologists still necessary?	Scott D. Nelson	S1312	1	17日	10:00-11:00	N	1,5	007
2	From the molecular pathology to the clinical practice in bone and soft tissue tumors	Alberto Righi	S1326			13:50-14:50	N	1,5	014
3	Surgical treatment of children with bone sarcomas of the extremities	Costantino Errani	S1417	2	18日	8:20-9:20	N	5	022
4	The road winds on: Aldehyde dehydrogenase (ALDH) in osteosarcoma metastatic potential and disulfiram in the treatment of osteosarcoma pulmonary metastases	Kurt Richard Weiss	S1421			10:40-11:40	N	1,5	027
5	Allograft reconstruction following the segmental resection of malignant bone tumors in the long bones	Kap Jung Kim	S1423			14:20-15:20	N	5	033

教育研修講演

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	悪性骨・軟部腫瘍に対する運動療法の役割	平岡弘二	S1320	2	17日	8:00-9:00	N,Re	5,13	004
2	骨・軟部腫瘍における新規治療開発の課題と展望	中山ロバート	S1324			10:10-11:10	N	1,5	008
3	骨・軟部腫瘍病理の新知見	孝橋賢一	S1332	3		8:00-9:00	N	1,5	005
4	AI 画像診断のonco-orthopaedics への活用	佐藤信吾	S1337			13:50-14:50	N,SS	5	016
5	Update がん支持・緩和医療・サイコオンコロジーとAYA世代患者への接し方	松岡弘道	S1351	4			N	5	015
6	骨腫瘍手術における三次元術前計画とMixed Realityなどの手術支援デバイスの活用	竹中 聡	S1351			15:00-16:00	N	5,11	017
7	AI時代の医学英語論文の読み方・書き方	堀内圭輔	S1431	3	18日	8:20-9:20	N	14-5	023
8	有痛性骨・軟部腫瘍に対する緩和IVR	西尾福英之	S1431			9:30-10:30	N	5,7	024
9	がんロコモ管理により生命予後は改善するか？	篠田裕介	S1432			10:40-11:40	N,Re	5,13	026
10	骨・軟部腫瘍切除後の再建方法とリンパ浮腫対策	清水隆昌	S1434			14:20-15:20	N	5	034

シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄 録	会場	日 時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	持続可能な骨・軟部腫瘍診療態勢の構築	松峯昭彦, 川井 章	S1309-11	1	17日	8:00-9:40	N	5	006
2	骨・軟部腫瘍におけるデジタルトランス フォーメーションとプレジジョン・メディシン	松本嘉寛, 秋山 達	S1314-16	1	17日	13:50-15:20	N	1,5	013
3	骨・軟部腫瘍におけるトランスレーショナル・ リサーチの臨床展開	近藤 格, 堀内圭輔	S1333-35	3		9:10-10:40			
4	脊椎転移に対する緩和的外科治療 —集学的治療の中で—	高木辰哉, 大島和也	S1338-40			15:00-16:40	N,SS	5,7	018
5	患肢温存手術の今とこれから	国定俊之, 筑紫 聡	S1406-8	1	18日	8:20-9:50	N	5,12	021
6	切除困難な骨・軟部腫瘍に対する治療戦略	秋末敏宏, 今井礼子	S1413-16			14:20-16:05	N	5	032
7	骨肉腫に対する新規治療探索	田仲和宏, 川島寛之	S1427-29	2		16:40-18:10			
8	骨・軟部腫瘍の画像診断の進歩と課題	平賀博明, 鳥越知明	S1435-37	3		15:30-17:00			

パネルディスカッション

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	AYA世代肉腫患者のアンメット・ニーズ: 対 策と課題	米本 司, 小林英介	S1317-19	1	17日	15:40-17:10			
2	骨・軟部腫瘍医のウェルビーイング: 働き方とキャリア形成	森岡秀夫, 原 仁美	S1409-11	1	18日	10:00-11:30	N	14-5	025

症例検討会

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	
1	症例検討会	藤本良太, 白井寿治, 孝橋賢一	S1330-31	2	17日	17:20-19:20

Bone Tumor Club

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	
1	Bone Tumor Club I	吉田新一郎, 菊地良直	S1327-28	2	17日	15:00-16:05
2	Bone Tumor Club II	田中太晶, 鷺見公太	S1328-29			16:05-17:10

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄 録	会場	日 時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	より多くの整形外科医が扱えるメガプロス テーシスへ ―通常型システムの役割と長期 生存者における課題―	生田国大	S1313	1	17日	12:40-13:40	N	5,12	012
2	リン酸塩尿性間葉系腫瘍(PMT)と腫瘍性骨 軟化症(TIO)の切っても切れない関係 ― PMT の外科的切除によって, TIO を完全に 防げるのか?―	遠藤 誠	S1325	2			N	5	001
	腫瘍性骨軟化症: 診療経験に基づくビット フォールと勘所	西田佳弘							
3	骨転移の初期対応から緩和外科まで ―運 動器に携わる次世代に受け継ぐ情熱―	大島和也	S1336	3			N,SS	5,7	011

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
4	悪性骨・軟部腫瘍に対する治療戦略 ー県 唯一の骨・軟部腫瘍対応可能施設としてー	菊田一貴	S1350	4	17日	12:40-13:40	N	5	010
5	神経線維腫症1型(NF1)の合併症フォロー アップと叢状神経線維腫(PN) マネジメント ー手術適応の見極めと薬物療法の考慮ー	中山ロバート	S1412	1	18日	13:10-14:10	N	3,5	029
6	腫瘍用人工関節の現状と課題 ー再置換術 への備えと対応ー	王谷英達	S1422	2			N	5,12	030
7	新規圧迫機構付き人工関節の治療経験:適 応・手術戦略・ピットフォールの検討	小池 宏	S1433	3			N	5,12	031

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	ALP低値が診断の決め手となる成人期低ホ スファターゼ症	村田博昭	S1352	4	17日	16:10-17:10	N	5	019
2	骨・軟部領域における遺伝子パネル検査: 診断・治療に活かせる最適な活用法の探索	仲野兼司	S1376	5		16:10-17:10	N	5	020

モーニングセミナー

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時		単位 種別	必須 分野	認定番号 25-0298
1	骨補填材における基礎と実臨床での経験	小林英介	S1430	3	18日	7:15-8:15	N	1,5	002
	手技の工夫でより扱いやすく！骨腫瘍における綿形状人工骨の有用性	鍋島 央							
2	血管腫・血管奇形治療のUP TO DATE ー薬物治療, IVR など非手術治療を 中心にー	古川洋志	S1441	4			N	3,5	003
	ラバマイシンは難治性筋肉内血管腫(静脈奇形)の新しい治療選択肢となりうる	村松慶一							

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N: 日整会専門医単位 S: スポーツ単位 R: リウマチ医単位
SS: 脊椎脊髄病医単位 Re: 運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患, 感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
- 14-5 1~13に当てはまらない領域講習